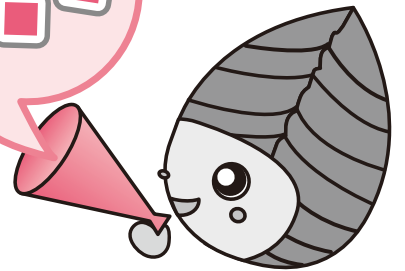


子育て応援!!



はるっこルーム

親子連れ優先のスペースです。親子で遊びを楽しみましょう。

とき 月～金曜日 午前10時～午後3時 ※出入り自由

ところ 児童センター 3階

遊戯室

ちびはるルーム

0歳児専用のスペースです。親子でゆったりと過ごせます。

とき 9月6日(木)、12・26日(水) 午前10時～午後2時 ※出入り自由

ところ 児童センター 3階 集会室

こどもの育ち何でも相談

言葉の遅れやコミュニケーションの心配など、育児の悩みを臨床心理士に相談できます。

とき 9月6日(木) 午前10時30分～正午

ところ 児童センター内 ※当日受付

相談員 臨床心理士 松本 敬子氏

なかよし広場

●ストローと画用紙を使ってかわいいネックレスを作りましょう

とき 9月13日(木) 午前11時～

●ぽんぽんヨーヨーを作つてあそびましょう

とき 9月27日(木) 午前11時～

ところ 児童センター 3階

多目的ホール

対象 就園前の子どもと保護者

持ち物 両日とも子ども用のはさみ、クレパスまたはサインペンの、のり、セロハンテープ、新聞紙1枚

※駐車スペースには限りがありますので、車でのお越しはできる限りご遠慮いただきます。ようご協力ください。

子育て支援センター教室 ぷちぷちカノン

心地よい音楽の中で、お母さんと一緒にリズム遊びを楽しみましょう。

とき 10月3・10・17・31日
11月7日(水)(全5回)

午前10時～10時45分

ところ 児童センター 3階

多目的ホール

対象 平成22年10月～23年3月生まれのお子さん

※申し込み時点で歩行可能なお子さんに限ります。

参加費 1500円

定員 20組

講師 三宅 実名子氏

受付開始 9月11日(火) 午前10時

児童センター 3階 多目的ホール

※受付開始時刻の時点で申し込み希望者が定員を超えていた場合は、その場で抽選とします。(受付会場は開始時刻になったら閉めます) ボールペン・参加費を持ってくるください。

児童センター小学生対象事業 キッズエアロビクス教室

軽快な曲に合わせて楽しくエアロビクスを行います。有酸素運動であるエアロビクスを行って体力作りをしましょう。

とき 10月11・18・25日

11月1・8・15・22・29日
12月6・13日(木)(全10回)

午後4時30分～5時30分

ところ 児童センター 3階

多目的ホール

対象 小学1～4年生

参加費 3000円

定員 20名

講師 佐藤 詩織氏

受付開始 9月12日(水) 午後2時 児童センター 3階 多目的ホール

※受付開始時刻の時点で申し込み希望者が定員を超えていた場合は、その場で抽選とします。
(受付会場は開始時刻になったら閉めます)ボールペン・参加費を持ってくるください。
※前回参加した児童は、申し込み多数になった場合お断りします。

★敬老の日のプレゼントを作ろう

竹を利用して眼鏡入れを作ります。

とき 9月15日(土)午後2時～

3時

ところ 児童センター 3階

工作室

定員 小学生先着15名

持ち物 はさみ・筆記用具

受付開始 9月12日(水)午前10時

ここまでの問合せ先

児童センター

(総合福祉センター 3階)

☎(441)1781

※小学生未満のお子さんは保護者の方が必ず付き添ってください。

教育委員会子育て支援事業 子育てほっとサロン

とき 9月11日(火)午前10時

～正午

ところ 公民館 2階 和室

内容 読み聞かせ・手遊び・誕生会・おしゃべり

今月のテーマ 絵本の紹介

※申し込み不要・時間内出入り自由
問合せ先 公民館内 社会教育課

☎(443)2671

9月の公民館ロビー展示

写真展

1日(土)～15日(土)

●写真同好会

男女共同参画パネル展

16日(日)～30日(日)

●社会教育課

※日程は都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

歯の健康講座

海部歯科医師会

「子どもを歯医者嫌いにならないために」

歯科治療はだれでも苦手なものです。極端に苦手という方もごくたまにいます。子どものころに歯医者にひどいことをされたのがトラウマになっている：などと言われます。さて、果たしてひどいことを歯医者がしたのでしょいか。誤解を恐れずに言えば、苦手意識を作ってしまったのは、その方の親御さんに責任の一端があるのです。幼少時、治療を嫌がって泣きわめく子どもは珍しくはありません。それでも必要な場合にはやむを得ず押さえつけて治療をすることもあります。しかし、子どもは情緒的にも成長するものです。継続して治療していくことで、スムーズになさくできるようになるものです。少しできたときにほめてやると、一気に変わる子もいます。治療終了時にまだ抵抗が残っていても健診がてら定期的に受診すれば、必ず恐怖心を克服できる時期が来ます。ところが、かわいそうだから大きくなってからにしよう、例えば3～4歳でできなくて、小学校3年生になって

「もう大丈夫だろう」と受診すると、歯科治療時にはその子は3～4歳に戻ってしまうのです。おどおどしたり動いて抵抗することなど幼少時そのものです。その時点でも継続すればまだチャンスはあります。そこを逃すと、成人になってもきよろしくしたりむやみに質問して治療開始を遅くしたり、幼少時そのままではなにしる、理性では治療を受けつつもりでも情緒不安定になり抵抗を示します。その方の過去の歯医者は悪魔のようになり記憶に横たわっているのです。

そうならないためには、継続して受診することがとても大切です。かわいそうだから、泣き叫んで恥ずかしいと思わず、親御さんは子が慣れるまでは、歯科医の指示に従って定期的に受診することをお勧めします。

また、「痛くないよ」「見るだけ」とまやかしの子どもに言わないでください。嘘になる可能性の言葉は困ります。「大丈夫」「強い子、良い子になろう」と言って連れてきてほしいと思います。